別紙２

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	福祉会館			所管課	社会福祉課	
地区	第１期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
水原	現状維持		大規模改修の検討			

Ｒ３年度　行政改革推進委員会意見
・利用者が多いにも関わらず、照明が暗いなどの不具合が多いので、それらの改善を図ること。 ・大規模改修が必要である。

１　施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S58(1983)	鉄筋コンクリート造	２階建	1,327.07 ㎡
Ｒ３収入	Ｒ３維持管理費	Ｒ３利用者数	(参考)Ｒ２利用者数
8,283 千円 指定管理料 6,849 千円	7,795 千円	10,317 人	9,401 人

２　取組実績

実施時期	実　施　内　容	備　　考
令和４年度	施設の修繕 ・高圧気中開閉器修繕　671,000 円 ・２階女子トイレ洗面所蛇口修繕 33,000 円	令和４年度利用者数　12,623 人 指定管理者修繕（７件） 326,575 円

３　年度別計画

年　度	当　　初	見直し（修正計画）
令和５年度	・社会情勢や利用者推移など将来需要見込みを考慮した大規模改修の検討 ・利用者属性の調査 ・類似施設（憩の家、公民館等）への利用者の振り分けの検討	
令和６年度	令和５年度の方針に基づいた取組	
令和７年度	令和５年度の方針に基づいた取組	
令和８年度	令和５年度の方針に基づいた取組	

４　行革意見

Ｒ４行革	概ね計画に同意。

５　評価、改善策等

評　価	□実施（完了）　□実施（進行中）　□一部未実施　□未実施
改善策等	

進捗管理 （管財課記入欄）	

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	天朝山文化交流の家			所管課	公園管理事務所	
地区	第１期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
水原	現状維持	利用増の取組				
Ｒ３年度　行政改革推進委員会意見						
・利用者数等について数値目標を定め管理すること。 ・天朝山公園の他の施設も含めて一体的なPRを行い、利用を促進すること。 ・天朝山公園全体の文化的価値を踏まえて、テーマ・方向性を定めること。						

１　施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H15(2003)	木造	１階建	130.56 ㎡
Ｒ３収入	Ｒ３維持管理費	Ｒ３利用者数	(参考)Ｒ２利用者数
140 千円	986 千円	715 人	350 人

２　取組実績

実施時期	実　施　内　容	備　　考
令和４年度	天朝山公園の魅力向上を図るため、令和５年度予算に矢倉を活用する改修費を計上しました。	Ｒ４（R5.3 末） 利用者数 535 人 矢倉活用は生涯学習課と協議を実施

３　年度別計画

年　度	当　　初	見直し（修正計画）
令和５年度	【年間利用目標】1,500 人 ・コロナ前の利用者数を目標とする。 【利用者増の取組】 ・天朝山の矢倉改修や資料展示をすることとしており、近くに市島春城の生家離れ、水原代官所があり、幕末から明治始めにかけての歴史的な背景を感じられるような取組をすることで魅力の向上を図る。 ・市の広報や HP 利用により利用促進を図る。 【設備更新】 ・予防保全の徹底	
令和６年度	【年間利用目標】1,500 人 【利用者増の取組】 ・イベントの開催 ・市の広報や HP 利用により利用促進を図る。 ・利用促進ポスターの掲示 【設備更新】 ・予防保全の徹底	
令和７年度	ＰＤＣＡにより検証し、取組を継続	
令和８年度	ＰＤＣＡにより検証し、取組を継続	

４　行革意見

Ｒ４行革	年度ごとに利用者やアンケートなどにより方策を改善しながら取り組むこと。

５　評価、改善策等

評　価	□実施（完了）　□実施（進行中）　□一部未実施　□未実施
改善策等	

進捗管理 （管財課記入欄）	

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	分田農村環境改善センター			所管課	農林課	
地区	第１期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
水原	現状維持	利用増の取組				

Ｒ３年度　行政改革推進委員会意見
・分田地区の中心となる公共施設であり、社会的な役割が認められる。 ・地元集会所としての役割もあるため地元の負担も検討すべき。 ・収支改善が課題であり、当該地域以外の市民へのPRを行うこと。

１　施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H4(1992)	鉄骨造	２階建	506.90 ㎡
Ｒ３収入	Ｒ３維持管理費	Ｒ３利用者数	(参考)Ｒ２利用者数
79 千円	1,162 千円	2,067 人	1,676 人

２　取組実績

実施時期	実　施　内　容	備　　考
令和４年度	利用状況の把握 令和４年度　利用件数 144 件　利用人数 2,466 人 収入 82 千円　維持管理費 1,101 千円	実習室の利用なし

３　年度別計画

年　度	当　　初	見直し（修正計画）
令和５年度	R2 年度　利用件数 99　収入 78 千円 R3 年度　利用件数 130　収入 79 千円 R4 年度　利用件数 144　収入 82 千円 〇利用者増の取組 （利用件数 150 件、利用者数 2,500 人を目指す。） 新型ウイルスによって利用件数が大幅に減少したR2年度から徐々に利用件数は増加しているが、収入は依然として低調なため、広報あがので施設の PR を行い、地域以外の利用者の増加を図る。 〇維持管理費の見直し 維持管理費が現在の利用状況に見合ったものか検証する。(警備委託料、清掃業務委託料の必要性など)	
令和６年度	利用者増の取組 ・ＰＤＣＡにより検証し、取組を継続	
令和７年度	利用者増の取組 ・ＰＤＣＡにより検証し、取組を継続	
令和８年度	利用者増の取組 ・ＰＤＣＡにより検証し、取組を継続	

４　行革意見

Ｒ４行革	地域の方にどのように使ってもらえるか、地域で議論してみるのも大事と考える。

５　評価、改善策等

評　価	□実施（完了）　□実施（進行中）　□一部未実施　□未実施
改善策等	

進捗管理 (管財課記入欄)	

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	神山ふれあいの家			所管課	社会福祉課	
地区	第１期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
笹神	用途廃止	用途廃止に向けた協議				
Ｒ３年度　行政改革推進委員会意見						
・現利用者である地元自治会との協議を早急に行うこと。 ・期限を定め今後の活用方法（廃止・解体含む）についての整理を行うこと。 （第１期期間内という意味ではない。それより短い期間で行う必要がある。）						

１　施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S56(1981)	鉄骨造	１階建	81.20 ㎡
Ｒ３収入	Ｒ３維持管理費	Ｒ３利用者数	(参考)Ｒ２利用者数
41 千円	274 千円	24 人	0 人

２　取組実績

実施時期	実　施　内　容	備　　考
令和４年度	利用者（団体）及び地元自治会との調整（意向確認）	令和４年度利用者数：17 人（しらとり自治会） ・R3 内訳→グラウンドゴルフ大会　１件 ・GB 場を利用している団体については、1 団体で 15 人。週２回（水・金）休みなく活動している。（R2.6 時点ではもう１団体あったが、今現在 GB 場は利用していない。）

３　年度別計画

年　度	当　　初	見直し（修正計画）
令和５年度	用途廃止に向け利用者及び地元自治会との協議	
令和６年度	（利用者、地元自治会が了承の場合） ・用途廃止 ・旧ささかみ荘も一体として、土地を含む活用方法の検討	
令和７年度		
令和８年度		

４　行革意見

Ｒ４行革	活用を検討する際、アクセスの悪さを考慮すべき。

５　評価、改善策等

評　価	□実施（完了）　□実施（進行中）　□一部未実施　□未実施
改善策等	

進捗管理 （管財課記入欄）	

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	笹神農民研修所			所管課	農林課	
地区	第１期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
笹神	用途廃止	用途廃止に向けた協議				

Ｒ３年度　行政改革推進委員会意見
・地域住民の意見を聞き、支障がないなら処分（解体）すべきである。 ・仮に譲渡の方向で協議するにしても、多額の費用をかけて修繕する必要があるのならば、譲渡しないことも考えられる。

１　施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S57(1982)	鉄筋コンクリート造	１階建	395.89 ㎡
Ｒ３収入	Ｒ３維持管理費	Ｒ３利用者数	(参考)Ｒ２利用者数
２千円 指定管理料なし	２千円	100 人	40 人

２　取組実績

実施時期	実　施　内　容	備　　考
令和４年度	指定管理による運営 （指定管理期間：令和７年度まで）	令和４年度利用者数 40 人

３　年度別計画

年　度	当　　初	見直し（修正計画）
令和５年度	・みそ加工施設利用者の代替施設を農協が確保した時点で指定管理を終了し用途廃止検討 ・他目的での利用を検討	
令和６年度	同上	
令和７年度	同上	
令和８年度	決定した事項に向けて事業を進める。	

４　行革意見

Ｒ４行革	概ね計画に同意。

５　評価、改善策等

評　価	□実施（完了）　□実施（進行中）　□一部未実施　□未実施
改善策等	

進捗管理 （管財課記入欄）	

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	水原代官所			所管課	商工観光課	
地区	第１期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
水原	現状維持	利用増の取組				

Ｒ３　行政改革推進委員会意見
・学校による利用、各種講座、サービスデイの設定、情報発信など運営改善に向けた様々な手法を検討すること。 ・それらの実行のためには、これまでと違った発想、若者の視点が必要である。 ・管理運営体制について民間活力の活用も検討すること。

１　施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H7(1995)	木造	1 階建	498.24 ㎡
Ｒ３収入	Ｒ３維持管理費	Ｒ３利用者数	(参考)Ｒ２利用者数
474 千円	4,194 千円	1,824 人	1,592 人

２　取組実績

実施時期	実　施　内　容	備　　考
令和４年度	利用増の取組 【観光共通事項】 ・市内外のイベント開催時における PR ・主要交通施設（鉄道：駅、高速道路：SA・PA、バス：案内所、空港：案内所）における PR ・公共・公的施設（県や近隣の自治体、観光協会等）における PR ・道の駅あがの来場者への施設 PR （観光パンフレットの読み取り QR コードを作成し来場者へ周知） 【個別施設】 ・民間旅行会社による旅行ツアーの実施	令和４年度利用者数 2,231 人

３　年度別計画

年　度	当　　初	見直し（修正計画）
令和５年度	利用増の取組（年間利用者2,000人を目指す。） ※毎年500人ずつの増加を目標とする。 ・前年度取組の継続 ・道の駅あがの来場者への施設PR （観光パンフレットの読み取りQRコードを作成し 来場者へ周知。来場者は新たに設定した目的別の モデルコースをもとに市内観光施設を周遊する。） 【個別施設】 ・民間旅行会社による旅行ツアーの実施 ・過去に実施されたイベントの開催機関への営業 ・近隣観光施設との連携強化 （天朝山公園矢倉の改修に併せたPR） 【施設修繕】 ・石畳（敷石）、表門扉の改修	
令和６年度	利用増の取組（年間利用者2,500人を目指す。） ・ＰＤＣＡにより検証し、取組を継続 施設来館者の状況 施設ＰＲについて 来場者アンケートの検証	
令和７年度	利用増の取組（年間利用者3,000人を目指す。） ・同上	
令和８年度	利用増の取組（年間利用者3,500人を目指す。） ・同上	

４　行革意見

Ｒ４行革	・瓢湖と代官所をタイアップした取り組みをしていただきたい。 ・商工会、観光協会、その他地元有志が協議会形式でイベントに取り組んだらどうか。

５　評価、改善策等

評　価	□実施（完了）　□実施（進行中）　□一部未実施　□未実施
改善策等	

進捗管理 （管財課記入欄）	

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	安田体育館			所管課	生涯学習課	
地区	第１期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
安田	用途廃止検討	廃止検討				

Ｒ３　行政改革推進委員会意見
・老朽化の状況から廃止もやむを得ないが、市民の納得を得られるきめ細かい廃止計画が必要。 ・水原総合体育館、笹神体育館をはじめ市内体育施設の配置、機能分担等を明確にすること。 ・現在の利用者の振り分けを円滑に行うため、利用者の意向を確認すること。 ・廃止にあたっては、残る施設の機能強化等も検討すること。

１　施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S51(1976)	鉄骨コンクリート造	２階建	2,298.10 ㎡
Ｒ３収入	Ｒ３維持管理費	Ｒ３利用者数	(参考)Ｒ２利用者数
244 千円	9,174 千円	12,203 人	13,057 人

２　取組実績

実施時期	実　施　内　容	備　　考
令和４年度	利用者数　13,766 人	令和４年度利用者数 ・水原総合体育館 79,115 人 ・笹神体育館 57,854 人

３　年度別計画

年　度	当　　初	見直し（修正計画）
令和５年度	・市内体育施設の利用状況及び課題整理 ・利用団体への意向確認 ・今後の在り方の検討	
令和６年度	今後の在り方方針案の作成	
令和７年度	今後の在り方方針に基づく取組	
令和８年度	今後の在り方方針に基づく取組	

４　行革意見

Ｒ４行革	利用の仕方を考えながら、廃止に向けた市民への周知、利用の在り方を考えていく必要がある。

５　評価、改善策等

評　価	□実施（完了）　□実施（進行中）　□一部未実施　□未実施
改善策等	

進捗管理 （管財課記入欄）	

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	京ヶ瀬体育館			所管課	生涯学習課	
地区	第１期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
京ヶ瀬	用途廃止検討	廃止検討				

Ｒ３　行政改革推進委員会意見
・老朽化の状況から廃止もやむを得ないが、市民の納得を得られるきめ細かい廃止計画が必要。 ・水原総合体育館、笹神体育館をはじめ市内体育施設の配置、機能分担等を明確にすること。 ・現在の利用者の振り分けを円滑に行うため、利用者の意向を確認すること。 ・廃止にあたっては、残る施設の機能強化等も検討すること。

１　施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S49(1974)	鉄骨コンクリート造	２階建	1,881.01 ㎡
Ｒ３収入	Ｒ３維持管理費	Ｒ３利用者数	(参考)Ｒ２利用者数
408 千円	7,264 千円	5,713 人	4,976 人

２　取組実績

実施時期	実　施　内　容	備　　考
令和４年度	利用者数　6,617 人	令和４年度利用者数 ・水原総合体育館 79,115 人 ・笹神体育館 57,854 人

３　年度別計画

年　度	当　　初	見直し（修正計画）
令和５年度	・市内体育施設の利用状況及び課題整理 ・利用団体への意向確認 ・今後の在り方の検討	
令和６年度	今後の在り方方針案の作成	
令和７年度	今後の在り方方針に基づく取組	
令和８年度	今後の在り方方針に基づく取組	

４　行革意見

Ｒ４行革	利用の仕方を考えながら、廃止に向けた市民への周知、利用の在り方を考えていく必要がある。

５　評価、改善策等

評　価	□実施（完了）　□実施（進行中）　□一部未実施　□未実施
改善策等	

進捗管理 （管財課記入欄）	

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	城ノ内野球場			所管課	生涯学習課	
地区	第１期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
安田	現状維持	劣化箇所調査	不具合修繕			

Ｒ３　行政改革推進委員会意見
・安全管理をしっかりと行いながら維持していくこと。 ・ナイター設備、バックネット支柱などは重大事故に繋がる恐れがあるので、早急に点検を行うこと。 なお、ナイター設備の廃止を行う場合、利用者や地域住民からの理解を得るよう努めること。

１　施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S48(1973)	鉄筋コンクリート造 木造	1階建	54.08 ㎡ (トイレ・倉庫)
Ｒ３収入	Ｒ３維持管理費	Ｒ３利用者数	(参考)Ｒ２利用者数
149 千円	969 千円	3,491 人	3,721 人

２　取組実績

実施時期	実　施　内　容	備　　考
令和４年度	劣化箇所調査 ・城ノ内野球場照明柱点検業務委託の実施 ・施設の定期的な巡回の実施 ・利用者数　4,274 人	

３　年度別計画

年　度	当　　初	見直し（修正計画）
令和５年度	不具合修繕 ・定期的な安全パトロールの実施 ・不具合箇所の把握 ※照明施設の修繕は行わない。 ナイター利用の廃止検討 【方針】水銀灯照明が利用不可となった時（球不足、器具故障など）、または利用団体との調整ができしだい、ナイター利用は終了とする。 ・野球場夜間利用者の状況把握 ・利用団体の意向確認の実施	
令和６年度	不具合修繕 ・定期的な安全パトロールの実施 ・不具合箇所の修繕 利用団体の意向を踏まえた施設利用の実施	
令和７年度	不具合修繕 ・定期的な安全パトロールの実施 ・不具合箇所の修繕	
令和８年度	不具合修繕 ・定期的な安全パトロールの実施 ・不具合箇所の修繕	

４　行革意見

Ｒ４行革	安全を第一に考えながら利用を進めていくこと。

５　評価、改善策等

評　価	□実施（完了）　□実施（進行中）　□一部未実施　□未実施
改善策等	

進捗管理 （管財課記入欄）	

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	安田Ｂ＆Ｇ海洋センター			所管課	生涯学習課	
地区	第１期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
安田	現状維持	利用増の取組				

Ｒ３　行政改革推進委員会意見
・幼稚園、保育園、認定こども園、小中学校でのプール教育の実態を把握したうえで、利用の促進に努めること。 ・わかりづらい場所にあることから、PR に努めること。 ・利用促進を図るため、安全管理に配慮しつつ指定管理者制度の導入も検討すること。

１　施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S60(1985)	鉄骨造	1 階建	125.00 ㎡ (受付・更衣室部分)
Ｒ３収入	Ｒ３維持管理費	Ｒ３利用者数	(参考)Ｒ２利用者数
0 千円（休館）	403 千円	0 人（休館）	0 人（休館）

２　取組実績

実施時期	実　施　内　容	備　　考
令和４年度	利用増の取組 ・新型コロナウイルス感染拡大防止措置を行い開館 ・一般開放は感染拡大防止のため未実施 ・団体利用数３１団体　　利用人数６１５人 ・カヌー教室・体験会　１２家族　２７名 ・水辺の安全教室　２園　２５名 ・出前講座 小学校ういて待て講習会　６校　７１５名 ・小学校Ｂ＆Ｇ利用に係る検討	営業期間 ７月～８月

３　年度別計画

年　度	当　　初	見直し（修正計画）
令和５年度	利用増の取組 【指標】3,000 人（令和元年度 2,975 人） ※コロナ前の利用者数に戻すことを令和５年度の目標とする。 ※令和 5 年度以降、前年度１割増加を目標とする。 ※ターゲットは、幼児・小学生を中心とし、成人にも施設を PR する。 ・案内（誘導）看板設置 ・キッズ水泳教室の開催 ・一般開放の実施 ・継続的事業の取組 ・小中学校への施設利用チラシの配布 ・広報、ホームページ及びＬＩＮＥを活用した市民への周知	
令和６年度	利用増の取組 ・継続的事業の取組 ・ＰＤＣＡによる効果検証	
令和７年度	利用増の取組 ・継続的な事業の取組 ・ＰＤＣＡによる効果検証	
令和８年度	利用増の取組 ・継続的な事業の取組 ・ＰＤＣＡによる効果検証	

４　行革意見

Ｒ４行革	概ね計画に同意。

５　評価、改善策等

評　価	□実施（完了）　□実施（進行中）　□一部未実施　□未実施
改善策等	

進捗管理 （管財課記入欄）	

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	水原テニスコート			所管課	生涯学習課	
地区	第１期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
水原	現状維持	利用増の取組				

Ｒ３　行政改革推進委員会意見
・阿賀野バイパス部分開通が好機となることから、市外の利用者を誘客すべき。 その際、他の観光資源と組み合わせることで魅力が向上するので、他の部署との連携を進めること。 ・利用促進を図るうえで、民間活力の活用を検討すべき。 ・期限を定め、早期に取り組むこと。

１　施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H11(1999)	木造	1 階建	64.44 ㎡ (トイレ・更衣室等)
Ｒ３収入	Ｒ３維持管理費	Ｒ３利用者数	(参考)Ｒ２利用者数
149 千円	424 千円	2,431 人	1,721 人

２　取組実績

実施時期	実　施　内　容	備　　考
令和４年度	・利用者数　1,508 人（市内 1,506 人、市外 2 人） ・適切な維持管理 ・多用途利用の検討	

３　年度別計画

年　度	当　　初	見直し（修正計画）
令和５年度	利用増の取組（集客を主とする。） 【指標】2,600 人（令和元年度 2,608 人） ※コロナ前の利用者数に戻すことを令和５年度の目標とする。 ※令和 5 年度以降、前年度１割増加を目標とする。 ・阿賀野バイパス利用者への施設ＰＲ（フェンスに施設看板取付） ・テニスコート場及び屋内運動場利用者への多用途利用に向けた聞き取り ・市外スポーツ協会へのＰＲチラシの送付 ・ホームページによる市内外への利用促進	
令和６年度	利用増の取組 ・　市内外へのＰＲ継続 ・　多用途への施設活用 ・　ＰＤＣＡによる効果検証 民間活用の検討	
令和７年度	利用増の取組 ・ＰＤＣＡによる効果検証	
令和８年度	利用増の取組 ・ＰＤＣＡによる効果検証	

４　行革意見

Ｒ４行革	概ね計画に同意。

５　評価、改善策等

評　価	□実施（完了）　□実施（進行中）　□一部未実施　□未実施
改善策等	

進捗管理 （管財課記入欄）	

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	小島駐車場（トイレ）			所管課	商工観光課	
地区	第１期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
京ヶ瀬	現状維持					

Ｒ３　行政改革推進委員会意見
・見た目も含めて綺麗にした方がよい。 ・トイレ単体で考えるのではなく、市の観光施策全体の中での位置づけを明確化して維持すべき。 ・現状維持で管理を行い、利用者の声を聞きながら改善すること。

１　施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S49(1974)	コンクリートブロック造	1階建	7.88 ㎡
Ｒ３収入	Ｒ３維持管理費	Ｒ３利用者数	(参考)Ｒ２利用者数
0 千円	377 千円	未集計	未集計

２　取組実績

実施時期	実　施　内　容	備　　考
令和４年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 （清掃：週２回、冬期間閉鎖：12 月上旬～３月上旬）	

３　年度別計画

年　度	当　　初	見直し（修正計画）
令和５年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 （清掃：週２回、 冬期間閉鎖：12 月上旬～３月上旬）	
令和６年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 （清掃：週２回、 冬期間閉鎖：12 月上旬～３月上旬）	
令和７年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 （清掃：週２回、 冬期間閉鎖：12 月上旬～３月上旬）	
令和８年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 （清掃：週２回、 冬期間閉鎖：12 月上旬～３月上旬）	

４　行革意見

Ｒ４行革	概ね計画に同意。

５　評価、改善策等

評　価	□実施（完了）　□実施（進行中）　□一部未実施　□未実施
改善策等	

進捗管理 （管財課記入欄）	

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	宿泊施設 リズム・ハウス瓢湖			所管課	商工観光課	
地区	第１期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
水原	運営改善	利用増の取組				

Ｒ３　行政改革推進委員会意見
・宿泊再開にあたっては、新たにできる「道の駅あがの」や他の施設との連携を検討すること。 ・利用を増やすため、瓢湖という立地条件（観光資源＋環境教育）を活かし、かつ五頭温泉郷と差別化した仕掛けが必要である。

１　施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H9(1997)	鉄骨造	２階建	721.71 ㎡
Ｒ３収入	Ｒ３維持管理費	Ｒ３利用者数	(参考)Ｒ２利用者数
2,703 千円	11,341 千円	8,421 人	12,698 人

２　取組実績

実施時期	実　施　内　容	備　　考
令和４年度	利用増の取組 ・ワーキングスペースの運営 ・道の駅来場者へのPR ・宿泊再開の検討	令和４年度利用者数 7,990 人 〔内訳〕 入　浴：5,536 人 貸部屋：2,415 人 ﾜｰｹｰｼｮﾝ：　39 人

３　年度別計画

年　度	当　　初	見直し（修正計画）
令和５年度	利用増の取組（年間利用者 10,000 人を目指す。） ※前年利用者を上回ることを目標とする。 ・ワーキングスペースの運営 ・道の駅来場者への PR ・宿泊再開の検討 修繕計画の策定 指定管理施設としての検討	
令和６年度	利用増の取組 ※前年利用者を上回ることを目標とする。 ・ＰＤＣＡにより検証し、取組を継続 　運営方法の検討 　入浴客の推移 　ワーキングスペースの活用状況 　貸部屋の活用状況 指定管理施設としての検討	
令和７年度	利用増の取組 ※前年利用者を上回ることを目標とする。 ・同上	
令和８年度	利用増の取組 ※前年利用者を上回ることを目標とする。 ・同上	

４　行革意見

Ｒ４行革	概ね計画に同意。

５　評価、改善策等

評　価	□実施（完了）　□実施（進行中）　□一部未実施　□未実施
改善策等	

進捗管理 （管財課記入欄）	

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	五頭連峰少年自然の家			所管課	生涯学習課	
地区	第１期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
笹神	運営改善	利用増の取組				

Ｒ３　行政改革推進委員会意見
・利用者等について数値目標を定め、期限を設けて取り組む。目標達成できなければ廃止も検討すること。 ・魅力的な条件を多く持っている施設であることから、他の施設と連携し、五頭連峰の観光や自然体験活動の拠点となるよう取り組むこと。 ・これまでも何度も問題視されてきた施設であり、真剣に改善に取り組むこと。

１　施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S49(1974)	鉄筋コンクリート造	２階建	2,451.98 ㎡
Ｒ３収入	Ｒ３維持管理費	Ｒ３利用者数	(参考)Ｒ２利用者数
80,656 千円	68,827 千円	5,750 人	4,327 人

２　取組実績

実施時期	実　施　内　容	備　　考
令和４年度	【経営改善】 ①下越地区学校メール配信 【利用者増の取組】 ①自然の家フェア開催 ②個人・ファミリー受入れ （実績）個人 36 人 ファミリー6 組 30 人	R4 利用者数　6,179 人 自然の家フェア：自然の家での体験活動を地域に開放し、自由に体験してもらうことで今後の利用増に繋げる事業として開催。(地域団体とも連携) 連携団体:ボーイスカウト阿賀野第1団

３　年度別計画

年　度	当　　初	見直し（修正計画）
令和５年度	【経営改善】 【年間利用目標】　　１０，０００人 ＊コロナ前まで戻すことを直近の目標とし、 令和５年度は10,000 人を目標とする。 （当面、毎年1,000 人ずつ増を目標とする。） 【手段】 ①いこいの森との連携 ＊いこいの森利用者へ自然の家風呂開放検討 ②いこいの森・五頭自然学校との連携 ＊講師派遣・共催イベント開催の検討 ③受入対象の拡大 ＊対象は、高校生・大学生・企業等の社会人 （部活・サークル・研修等） （Wi-Fi 環境を活用した活動の受入 パソコン、タブレット、スマホ持込利用） ④主催事業開催 ＊社会教育と連携　＊自然の家主催 ＊県少年自然の家との共催 【施設の魅力向上の取組】 ①炊飯場のチップ敷き ②遊歩道砂利敷き整備 ③花木の植樹による環境整備	
令和６年度	・ＰＤＣＡでの見直し ・利用者増加の取組 ・受入対象の拡大検討 ・施設の魅力向上の取組 （過疎債を使用した耐震改修等の検討）	
令和７年度	同上	
令和８年度	同上	

４　行革意見

Ｒ４行革	概ね計画に同意。

５　評価、改善策等

評　価	□実施（完了）　□実施（進行中）　□一部未実施　□未実施
改善策等	

進捗管理 （管財課記入欄）	

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	やまびこ通り（トイレ・東屋）			所管課	商工観光課	
地区	第１期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
笹神	現状維持					
Ｒ３　行政改革推進委員会意見						
・必要な修繕を行って維持管理すること。 ・訪れる人を歓迎するために必要な整備・維持管理を行うこと。						

１　施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H5(1993)	鉄筋コンクリート造	１階建	51.37 ㎡
Ｒ３収入	Ｒ３維持管理費	Ｒ３利用者数	(参考)Ｒ２利用者数
0 千円	747 千円	未集計	未集計

２　取組実績

実施時期	実　施　内　容	備　　考
令和４年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 清掃：週２回、繁忙期は週３回 汲取：概ね年２回	冬季間（１２月上旬～４月中旬）はやまびこ通り閉鎖 ・不具合箇所(庇の柱が腐食、天井一部剥がれ）の修繕未実施

３　年度別計画

年　度	当　　初	見直し（修正計画）
令和５年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 ・不具合箇所の修繕	
令和６年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 ・不具合箇所の修繕	
令和７年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 ・不具合箇所の修繕	
令和８年度	現状維持 ・適切な維持管理業務の実施 ・不具合箇所の修繕	

４　行革意見

Ｒ４行革	概ね計画に同意。

５　評価、改善策等

評　価	□実施（完了）　□実施（進行中）　□一部未実施　□未実施
改善策等	

進捗管理 （管財課記入欄）	

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	五頭山麓いこいの森			所管課	商工観光課	
地区	第１期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
笹神	運営改善	近隣施設との連携検討				
Ｒ３　行政改革推進委員会意見						
・少年自然の家など他の施設との連携を検討すること。						

１　施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S57(1982)	鉄骨造・木造	1階建	261.13 ㎡
Ｒ３収入	Ｒ３維持管理費	Ｒ３利用者数	(参考)Ｒ２利用者数
4,855 千円 うち指定管理費 1,300 千円	4,855 千円	29,878 人	34,950 人

２　取組実績

実施時期	実　施　内　容	備　　考
令和４年度	近隣施設との連携検討 ・指定管理者による五頭薬用植物園との一体管理運営の実施	令和４年度利用者数 25,712 人

３　年度別計画

年　度	当　　初	見直し（修正計画）
令和５年度	近隣施設との連携検討 ・少年自然の家、五頭自然学校との連携による利用促進 ・五頭山麓の自然を活かした事業の実施 ・バリアフリー対応や、子供の生き物とのふれあい、五頭薬用植物園を活用した実践体験 ※年間利用者 30,000 人を目指す。（令和８年度までに、H27 利用者 40,000 人を目標とする。）	
令和６年度	前年度事業のＰＤＣＡにより、更なる魅力向上及び連携を図る。 ・ネットでの口コミを集計し、利用者増加に向けた取組を検討 ・五頭薬用植物園、五頭連峰少年自然の家との連携状況 ・チェックアウト時に施設利用者の声を聴く（施設・環境・対応） ※年間利用者 37,000 人を目指す。	
令和７年度	同上 ※年間利用者 38,000 人を目指す。	
令和８年度	同上 ※年間利用者 40,000 人を目指す。	

４　行革意見

Ｒ４行革	概ね計画に同意。

５　評価、改善策等

評　価	□実施（完了）　□実施（進行中）　□一部未実施　□未実施
改善策等	

進捗管理 （管財課記入欄）	

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	五頭山麓うららの森			所管課	商工観光課	
地区	第１期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
笹神	現状維持	利用増の取組				
Ｒ３　行政改革推進委員会意見						
・目標達成に向けて、他施設との連携、位置づけの明確化、運営体制等の検討を行うこと。						

１　施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H14(2002)	木造	1 階建	492.65 ㎡
Ｒ３収入	Ｒ３維持管理費	Ｒ３利用者数	(参考)Ｒ２利用者数
7,489 千円	11,611 千円 (うち繰越 3,763 千円)	103,596 人	100,397 人

２　取組実績

実施時期	実　施　内　容	備　　考
令和４年度	利用増の取組 【観光共通事項】 ・市内外のイベント開催時における PR ・主要交通施設（鉄道：駅、高速道路：SA・PA、バス：案内所、空港：案内所）における PR ・公共・公的施設（県や近隣の自治体、観光協会等）における PR ・道の駅あがの来場者への施設 PR (観光パンフレットの読み取り QR コードを作成し来場者へ周知) 【個別施設】 ・芝生広場等を活用したイベント阿賀野(WALK&EAT)の開催	令和４年度利用者数 101,381 人

３　年度別計画

年　度	当　　初	見直し(修正計画)
令和５年度	利用増の取組（年間利用者 120,000 人を目指す。） ※毎年 10,000 人ずつの増加を目標とする。 ・前年度取組の継続 ・道の駅あがの来場者への施設 PR （観光パンフレットの読み取り QR コードを作成し 来場者へ周知。来場者は新たに設定した目的別の モデルコースをもとに市内観光施設を周遊する。） 【個別施設】 ・芝生広場等を活用したイベント開催 内容：阿賀野 WALK&EAT ・この地域の特産品やお土産の充実 内容：市内地場産工芸品等の未販売者への勧誘 ・温泉客、登山者向けの PR 内容：登山者及び共同浴場利用者の施設利用と駐車場活用	
令和６年度	利用増の取組（年間利用者 130,000 人を目指す。） ・同上 ・ＰＤＣＡによる見直し ＰＲ効果の検証（来場者数、アンケートなど） 利用者増加に向けた取組内容 地域の施設との連携状況 施設の充実度（品目・対応） ・芝生広場や花壇の魅力向上へ向けた取組	
令和７年度	利用増の取組（年間利用者 140,000 人を目指す。） ・同上	
令和８年度	利用増の取組（年間利用者 150,000 人を目指す。） ・同上	

４　行革意見

Ｒ４行革	概ね計画に同意。

５　評価、改善策等

評　価	□実施（完了）　□実施（進行中）　□一部未実施　□未実施
改善策等	

進捗管理 （管財課記入欄）	

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	宝珠温泉保養センターあかまつ荘			所管課	商工観光課	
地区	第１期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
安田	用途廃止検討	譲渡・貸館利用検討				

Ｒ３　行政改革推進委員会意見
・現在の利用者の行き場も考慮し、規模・機能の縮小を検討すること。 ・廃止を進める場合、市民に対して市の負担を示すなど、丁寧な説明を行うこと。

１　施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H4(1992)	木造・鉄骨造	1 階建	440.44 ㎡
Ｒ３収入	Ｒ３維持管理費	Ｒ３利用者数	(参考)Ｒ２利用者数
30,107 千円 うち指定管理費 20,000 千円	35,772 千円	47,858 人	44,212 人

２　取組実績

実施時期	実　施　内　容	備　　考
令和４年度	・あかまつ荘の在り方検討会（委員 11 名）を設置 8 月下旬から 12 月上旬にかけて 5 回開催 ・検討会より提出された提言書の内容を踏まえ、 市民団体からの提案募集を開始	

３　年度別計画

年　度	当　　初	見直し（修正計画）
令和５年度	**【当初の運営方針】** ・市民団体からの提案募集 **【手段】** ・広報、ホームページ、新潟日報（３月掲載）、自治会回覧等により提案募集の周知 **【施設運営】** （提案あり） ・ヒアリング等により提案内容の確認と実効性及び施設運営の可否を判断 （提案なし） ・今後の施設の維持管理方法について検討	
令和６年度	令和５年後の決定事項により業務を遂行	
令和７年度	同上	
令和８年度	同上	

４　行革意見

Ｒ４行革	市民団体が運営することになったとしても、（老朽化など）施設に課題を持っていることを考慮すること。

５　評価、改善策等

評　価	□実施（完了）　□実施（進行中）　□一部未実施　□未実施
改善策等	

進捗管理 （管財課記入欄）	

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	農業総合管理センター			所管課	農林課	
地区	第１期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
水原	譲渡検討	譲渡交渉				

Ｒ３　行政改革推進委員会意見
・実質的に指定管理者である JA の専用施設となっているため、 早急に譲渡に関して JA との協議を進めること。 ・補助金に伴う処分制限について整理をすること。

１　施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H7(1995)	鉄骨造	2 階建	867.18 ㎡ (該当部分)
Ｒ３収入	Ｒ３維持管理費	Ｒ３利用者数	(参考)Ｒ２利用者数
0 千円 指定管理料なし	414 千円	4,667 人	4,972 人

２　取組実績

実施時期	実　施　内　容	備　　考
令和４年度	指定管理による運営 （指定管理期間：令和７年度まで） 譲渡交渉 ・譲渡に向けて JA 新潟かがやきと協議	R4.4.1　広域合併 新潟かがやき農協 令和４年度利用者数 1,350 人

３　年度別計画

年　度	当　　初	見直し（修正計画）
令和５年度	譲渡交渉 ・指定管理期間中に譲渡に向けて結論を出す。 ・新潟かがやき農協と協議	
令和６年度	ＰＤＣＡサイクルによる事業管理	
令和７年度	ＰＤＣＡサイクルによる事業管理	
令和８年度	協議結果に基づき事業を進める。	

４　行革意見

Ｒ４行革	概ね計画に同意。

５　評価、改善策等

評　価	□実施（完了）　□実施（進行中）　□一部未実施　□未実施
改善策等	

進捗管理 （管財課記入欄）	

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	どれみハウス倉庫（旧白鳥ルーム）			所管課	社会福祉課	
地区	第１期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
水原	現状維持 (貸付)					
Ｒ３　行政改革推進委員会意見						
・福祉事業を運営するために必要な施設であると認められるため、現状維持を妥当とする。						

１　施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
S47(1972)	鉄骨造	２階建	265.50 ㎡
Ｒ３収入	Ｒ３維持管理費	Ｒ３利用者数	(参考)Ｒ２利用者数
０千円	０千円	なし（用途：倉庫）	なし（用途：倉庫）

２　取組実績

実施時期	実　施　内　容	備　　考
令和４年度	現状維持（貸付）	

３　年度別計画

年　度	当　　初	見直し（修正計画）
令和５年度	貸付団体と譲渡協議	
令和６年度	譲渡の場合：譲渡手続 譲渡しない場合：貸付継続	
令和７年度		
令和８年度		

４　行革意見

Ｒ４行革	概ね計画に同意。

５　評価、改善策等

評　価	□実施（完了）　□実施（進行中）　□一部未実施　□未実施
改善策等	

進捗管理 （管財課記入欄）	

個別施設計画に係る実行計画進捗管理シート

施設名	ゆうきセンター			所管課	農林課	
地区	第１期方針	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)
笹神	機能集約	機能集約の検討				

Ｒ３　行政改革推進委員会意見
・グリーンアクアセンターと統合する場合、ゆうきセンターの維持経費を削減しなければならない。 ・経費削減という点では、堆肥保管場所としての利用は有効。 ・ゆうきセンターとグリーンアクアセンターそれぞれの施設の役割を整理して市民への説明責任を果たせるよう準備すること。

１　施設概要

建築年度	構造	階数	延床面積
H3(1991)	鉄骨造・木造	1 階建	2,325.00 ㎡
Ｒ３収入	Ｒ３維持管理費	Ｒ３利用者数	(参考)Ｒ２利用者数
40,441 千円 指定管理料なし	45,219 千円	1,076 人	911 人

２　取組実績

実施時期	実　施　内　容	備　　考
令和４年度	・堆肥製造工程の見直しのため、長野県木島平村の堆肥センターを視察した。 ・関係機関との意見交換会開催（7 月）及び関係機関に加えて堆肥製造機器メーカーと意見交換会を開催。（11 月）。 ・ペレット堆肥化に向けた打合せを実施。（1.2 月）	令和４年度利用者数 1,093 人

３　年度別計画

年　度	当　　初	見直し（修正計画）
令和５年度	・ゆうきセンターの機能（ストック場）を決定し、必要な修繕箇所を確認する。	
令和６年度	・ストック場としての施設、機械整備を進める。	
令和７年度	・ストック場としての施設、機械整備を進める。 ・グリーンアクアセンターでの受入れ状況が整い次第、ゆうきセンターの堆肥製造を中止する。	
令和８年度	・ストック場としての施設、機械整備を進める。 ・グリーンアクアセンターでの受入れ状況が整い次第、ゆうきセンターの堆肥製造を中止する。	

４　行革意見

Ｒ４行革	概ね計画に同意。

５　評価、改善策等

評　価	□実施（完了）　□実施（進行中）　□一部未実施　□未実施
改善策等	

進捗管理 （管財課記入欄）	